

**施策体系シート(行政経営Bシート)**

作成者	組織	観光企画課	職	課長	氏名	中山 隆志
評価者	組織	観光企画課	職	課長	氏名	山本 洸大

	施策の目標	成果指標	単位	目標値 (年度)	現状値		評価
					(年度)	(年度)	
施策1	観光客の満足度向上による石川ファンの拡大	観光入り込み客数	千人	30,000 (R7)	13,252 (R2)	12,307 (R3)	D
施策2	観光振興を担う人材の育成・充実	観光入り込み客数	千人	30,000 (R7)	13,252 (R2)	12,307 (R3)	D

施策の目標達成に向けて重点的に取り組むべき課題							課題に対する主な取り組み				評価	
施策	課題	成果指標	単位	目標値 (年度)	現状値		事務事業	対象	予算 (千円)	決算 (千円)	事業の有効性	今後の方向性
					(年度)	(年度)						
施策1	課題1 新たな魅力づくりと満足度向上による石川ファンの拡大	観光入り込み客数	千人	30,000 (R7)	13,252 (R2)	12,307 (R3)	1 「金沢城・兼六園四季物語」開催事業	観光客全般	20,100	16,688	B	継続
							2 いしかわの観光資源商品化促進事業	観光事業者、旅行会社等	4,000	4,000	B	継続
							3 体験型観光素材開発事業	観光客全般	10,000	5,872	B	継続
							4 加賀百万石回遊ルート誘客推進事業	観光客全般	24,000	24,000	B	拡大
	課題2 石川ファンの拡大を図るためのおもてなしの向上	観光入り込み客数	千人	30,000 (R7)	13,252 (R2)	12,307 (R3)	1 観光客の声を活かすおもてなし向上事業	観光客全般	1,800	1,800	B	継続
							2 ウェルカムいしかわ推進事業	観光事業者、一般県民	200	55	C	継続
	課題3 石川ならではの魅力の発信	観光入り込み客数	千人	30,000 (R7)	13,252 (R2)	12,307 (R3)	1 ほっと石川観光プラン推進ファンド事業 資金貸付金	一般観光客	115,300	115,300	B	継続
	課題4 広域連携による県域を越えた周遊観光の促進	観光入り込み客数	千人	30,000 (R7)	13,252 (R2)	12,307 (R3)	1 加賀温泉旅館等誘客促進事業	観光客全般	18,000	250	B	継続
施策2	課題1 観光振興を担う人材の育成	観光入り込み客数	千人	30,000 (R7)	13,252 (R2)	12,307 (R3)	1 次代を担う石川の観光人材育成事業	観光事業者、一般県民	1,600	1,300	B	継続

※人数については、暦年の数値である

# 事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名 「金沢城・兼六園四季物語」開催事業	事業開始年度	H14	事業終了予定年度		作 組 織	観光企画課
	根拠法令 ・計画等	ほっと石川観光プラン2016			成 職・氏名	専門員 松林 憲吾
					者 電話番号	076 - 225 - 1542 内線 3926

●事業の背景・目的

金沢城公園や兼六園などを舞台に、夜の魅力アップを図ることを目的に、四季を通じてイベントを開催し、観光石川の魅力を県内外にアピールすることで、石川ファンを増やし、観光誘客を図る。

●事業の概要

- ・金沢城・兼六園ライトアップ

雰囲気異なる金沢城・兼六園の特長を活かしたイベントを実施(計27日間)

タイトル	開催日	開催時刻	備考
春の段 (5日間)	令和3年4月30日(金)～5月4日(火・祝) →中止	18:30～21:00	ライトアップ
初夏の段 (4日間)	令和3年5月31日(月)、6月4日(金)～6日(日) →中止	19:00～21:00	ライトアップ
夏の段	(4日間) 令和3年7月2日(金)、3日(土)、9日(金)、10日(土)	19:30～21:30	ホテル観賞会
	(13日間) 令和3年7月22日(木・祝)～24日(土)、30日(金)、31日(土)、8月6日(金)～8日(日・祝)、13日(金)～15日(日)、20日(金)、21日(土) →中止	18:30～21:00	ライトアップ
秋の段 (23日間)	令和3年11月6日(土)～28日(日)	17:30～21:00	ライトアップ
冬の段 (18日間)	令和4年1月28日(金)～2月12日(土)、18日(金)、19日(土)→中止	17:30～21:00	ライトアップ

※ライトアップでは、オーケストラ・アンサンブル金沢のBGMなども実施

●負担金交付先

石川の四季観光キャンペーン実行委員会(会長:石川県観光戦略推進部長)

施策・課題の状況						
施策	観光客の満足度向上による石川ファンの拡大	評価	D			
課題	新たな魅力づくりと満足度向上による石川ファンの拡大					
	指標	観光入り込み客数	単位	千人		
	目標値	現状値				
	令和7年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	30,000	24,753	24,915	24,899	13,252	12,307

事業費						
(単位:千円)						
	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
事業費	予算	17,600	17,600	20,100	20,100	20,100
	決算	17,600	17,600	20,100	16,080	16,688
一般財源	予算	10,200	17,600	20,100	20,100	20,100
	決算	10,200	17,600	20,100	16,080	16,688
事業費累計	173,851	191,451	211,551	227,631	247,731	

評価		
項目	評価	左記の評価の理由
事業の有効性 (費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか)	B	新型コロナウイルス感染症の影響により、県全体の観光入込客数は令和元年度比49.4%、令和2年度比92.9%となっている中、本事業は開催日数を縮小(計画67日→実績27日)して実施したが、1日あたりの来場者数では令和元年度比125%、令和2年度比113%(R1:2,866人、R2:3,150人、R3:3,573人)となっており、一定の観光誘客効果があった。
今後の方向性 (県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)	継続	金沢城公園・玉泉院丸庭園・兼六園といった本県の貴重な観光施設を一体で見せることにより、夜の観光資源として定着している。 まだ来園したことがない方のみならず、リピーターの獲得にも繋げるよう、引き続き、新たなイベントの実施等による魅力アップに取り組む。

# 事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名 いしかわの観光資源商品化促進事業	事業開始年度	H29	事業終了予定年度		作 組 織	観光企画課
	根拠法令 ・計画等	ほっと石川観光プラン2016			成 職・氏名	専門員 吉田 真悟
					者 電話番号	076 - 225 - 1539 内線 3922

**事業の背景・目的**  
 北陸新幹線金沢開業効果の全県波及と持続発展を図るため、平成26年度から「いしかわ旅行商品プロモーション会議」を開催し、地域の観光資源の発掘・磨き上げを進め、旅行商品化につなげる取り組みを行ってきた。  
 平成29年度からは、旅行商品の造成に精通した「旅行商品企画マネージャー」を石川県観光連盟に配置しており、引き続き、観光資源の更なるブラッシュアップと首都圏等の旅行会社へのプロモーションを一層強化する。

**事業の概要**  
 旅行商品造成に精通した旅行商品企画マネージャー(大手旅行会社からの出向)を石川県観光連盟に配置し、市町等の取組を支援  
 (業務内容)  
 (1) 観光資源の更なるブラッシュアップによる新旅行商品の開発  
 (2) 旅行会社へのプロモーション  
 (3) 民間事業者が行う観光素材開発の支援・フォローアップ(公募)(R3新規)

施策・課題の状況						
施策	観光客の満足度向上による石川ファンの拡大				評価	D
課題	新たな魅力づくりと満足度向上による石川ファンの拡大					
	指標	観光入り込み客数			単位	千人
	目標値	現状値				
	令和7年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	30,000	24,753	24,915	24,899	13,252	12,307

事業費					
(単位：千円)	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
事業費 予算	4,000	4,000	4,000	4,000	4,000
事業費 決算	3,400	4,000	4,000	4,000	4,000
一般 予算	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000
財源 決算	1,700	2,000	2,000	2,000	2,000
事業費累計	3,400	7,400	11,400	15,400	19,400

評価		
項目	評価	左記の評価の理由
事業の有効性 (費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか)	B	新型コロナウイルス感染症の影響により、県全体の観光入込客数は令和元年度比49.4%、令和2年度比92.9%となっている中、旅行商品企画マネージャーによる県内全市町等への指導・助言や勉強会(1回・18人参加)の開催等を通じ、現地へのアクセス方法の確保や、コロナ禍で多様化する旅行ニーズを踏まえた観光素材の開発など、旅行会社へ提案する観光資源のブラッシュアップが図られた。(R3企画開発商品…「金」に関連する自然・文化体験をタクシーで巡るプラン、禅寺での和尚の法話と坐禅による心のデトックス体験 等)
今後の方向性 (県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)	継続	引き続きマネージャーを配置し、観光資源の更なるブラッシュアップやプロモーションの強化や、民間事業者の観光素材開発への支援・フォローアップにも取り組む。

# 事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名 体験型観光素材開発事業	事業開始年度	H30	事業終了予定年度		作 組 織	観光企画課
	根拠法令 ・計画等	ほっと石川観光プラン2016			成 職・氏名	主事 眞鍋 奈美
					者 電話番号	076 - 225 - 1539 内線 3921

**事業の背景・目的**

近年の消費トレンドは「モノ消費」から「コト消費」へ変化しており、旅行者のニーズも体験志向へと変化している。

こうした中、旅行会社からは、新たな体験やより深掘りした体験プログラムの提案を求められていることから、地域ごとの魅力あるテーマ・ストーリーに基づいた、石川ならではの新たな体験型観光素材の開発を推進し、地域の魅力の更なる磨き上げを図る。

**事業の概要**

市町・市町の観光協会(団体)に素材開発の専門家(旅行会社の社員等)を派遣し、観光素材の開発を支援する。

①支援対象:市町・観光団体(13市町・団体/年)

②開発する素材:地域ごとのテーマ・ストーリーに基づいて、体験をはじめ施設見学や食事等をパッケージ化した「旅を通じて物語性が体感できる」新たな体験型観光素材

施策・課題の状況						
施策	観光客の満足度向上による石川ファンの拡大				評価	D
課題	新たな魅力づくりと満足度向上による石川ファンの拡大					
	指標	観光入り込み客数			単位	千人
	目標値	現状値				
	令和7年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	30,000	24,753	24,915	24,899	13,252	12,307

事業費					
(単位:千円)	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
事業費 予算		3,000	5,000	10,000	10,000
事業費 決算		370	2,953	0	5,872
一般 予算		1,500	2,500	5,075	5,125
財源 決算		185	1,477	0	2,436
事業費累計		370	3,323	3,323	9,195

評価		
項目	評価	左記の評価の理由
事業の有効性 (費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか)	B	新型コロナウイルス感染症の影響により、県全体の観光入込客数は令和元年度比49.4%、令和2年度比92.9%となっている中、R3年度は13市町(団体)に素材開発の専門家を派遣し、観光素材の開発(発掘・磨き上げ)に取り組んだ結果、11素材がR3年度のプロモーション会議での提案に至り、28素材がR4年度のプロモーション会議で提案予定である。
今後の方向性 (県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)	継続	県内全市町における新たな体験型観光素材の開発促進に向け、19市町への専門家派遣を行い、観光素材の開発(発掘・磨き上げ)を支援する。

# 事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名 加賀百万石回遊ルート誘客推進事業	事業開始年度 R2	事業終了予定年度
	根拠法令・計画等	ほっと石川観光プラン2016

作	組	織	観光企画課
成	職・氏名	主事 中邨 颯汰	
者	電話番号	076 - 225 - 1542	内線 3928

<事業の背景及び目的>

鼠多門・鼠多門橋や国立工芸館といった新たな魅力が誕生し、長町武家屋敷跡から尾山神社を経て、金沢城、兼六園、本多の森公園へと至る加賀百万石回遊ルートが形成され、人の流れも大きく変化した。引き続き、加賀百万石回遊ルートが金沢中心部における観光ルートとして利用され、より満足度を高めるために、回遊ルートのシンボルである金沢城の魅力創出とルートの回遊性の向上により、ルート全体の魅力アップと認知度向上・定着を図るための仕掛けを実施し、更なる観光誘客につなげる。

<事業の概要>

- (1) 年間を通じた魅力づくり
  - ① 金沢城公園の夜間において光による特別演出イベントの開催
  - ② 金沢城公園を活用した昼のイベントの開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の影響で中止
- (2) 受入れ体制の充実と回遊する仕掛けづくり
  - ① ルート上施設の共通入館券「SAMURAI PASSPORT(サムライパスポート)」の発行及び利用促進
  - ② 周辺商店街と連携し、SAMURAI PASSPORTの提示で受けられるおもてなし特典の開始
  - ③ スタンプラリーの実施(金沢城公園重要文化財の特別公開等の新スタンプを追加)
- (3) 情報発信
  - ① 加賀百万石回遊ルートのホームページの更新・追加
  - ② 回遊ルートガイドマップの制作
  - ③ SNSフォトコンテストの実施

施策・課題の状況						
施策	観光客の満足度向上による石川ファンの拡大			評価	D	
課題	新たな魅力づくりと満足度向上による石川ファンの拡大					
	指標	観光入り込み客数			単位	千人
	目標値	現状値				
	令和7年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	30,000	24,753	24,915	24,899	13,252	12,307

事業費					
(単位:千円)	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
事業費	予算			30,000	24,000
	決算			24,499	24,000
一般	予算			15,000	12,000
財源	決算			12,250	12,000
事業費累計		0	0	24,499	48,499

評価		
項目	評価	左記の評価の理由
事業の有効性 (費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか)	B	新型コロナウイルス感染症の影響により、県全体の観光入込客数は令和元年度比49.4%、令和2年度比92.9%となっている中、SAMURAI PASSPORTやSNSフォトコンテストなど回遊ルートの魅力発信や認知度向上に係る事業について、見直し・継続するとともに新たにおもてなし特典事業を開始することで、ルート全体の更なる賑わいの創出に繋がった。また、夜間の魅力向上を目的に令和3年度より新たに実施した五彩提灯回遊路が好評となり、夜の賑わいが創出された。
今後の方向性 (県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)	拡大	鼠多門・鼠多門橋の完成により人の流れが大きく変化した。金沢中心部における観光ルートとしてより満足度を高めるために、引き続き、ルート全体の魅力アップや認知度の向上と定着、回遊性の向上に取り組んでいく。

# 事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名 観光客の声を活かすおもてなし向上事業	事業開始年度	H27	事業終了予定年度		作 組 織	観光企画課	
	根拠法令 ・計画等	ほっと石川観光プラン2016			成 職・氏名	主事 山野下 莉那	
					者 電話番号	076 - 225 - 1127 内線 3923	

<事業の背景及び目的>

北陸新幹線により増加している観光客を「おもてなし」の心を持って迎え、観光地石川のより一層のイメージアップやリピーター客の確保につなげるため、お客様が本県に対し、どのように思っているのか、良い意見、悪い意見を問わず受け止め、広く観光業界全体で共有し、迅速かつ柔軟に対応できる体制を整えることを目的とする。

<事業の概要>

観光客の意見や要望を的確に把握し、より喜ばれる体制に改善するため、「お客様の声」を募集する。併せて、同じクレーム等が発生しないよう、業界全体で「お客様の声」を共有し、「おもてなし」の向上を図る。

交 付 先 : (公社)石川県観光連盟

- (1) アンケートハガキの作成、設置  
設置先: 県内主要駅、道の駅、観光情報センター、空港、宿泊施設 等
- (2) 観光関係団体との情報共有  
いただいた声を取りまとめ、観光連盟会員やその他観光関係団体にデータを送付

施策・課題の状況						
施策	観光客の満足度向上による石川ファンの拡大				評価	D
課題	石川ファンの拡大を図るためのおもてなしの向上					
	指標	観光入り込み客数			単位	千人
	目標値	現状値				
	令和7年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	30,000	24,753	24,915	24,899	13,252	12,307

事業費						
(単位:千円)		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
事業費	予算	2,000	1,900	1,900	1,900	1,800
	決算	2,000	1,900	1,900	1,900	1,800
一般	予算	2,000	1,900	1,900	1,900	1,800
	決算	2,000	1,900	1,900	1,900	1,800
事業費累計		7,000	8,900	10,800	12,700	14,500

評価		
項目	評価	左記の評価の理由
事業の有効性 (費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか)	B	新型コロナウイルス感染症の影響により、県全体の観光入込客数は令和元年度比49.4%、令和2年度比92.9%となっている中、これまでのお客様からの声について、関係団体や事業者間で共有するとともに、改善を求める意見は対象施設に連絡し改善を促すといった取組みを積み重ねてきた結果、令和3年度に寄せられた意見では、「満足」、「やや満足」の評価が90.6%と、昨年度(令和2年度:88.0%)から2.6%の増となった。
今後の方向性 (県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)	継続	引き続き、観光客の意見や要望を的確に把握し、関係団体や事業者等と連携して、観光地石川のイメージアップや、リピーター客の確保につなげていく。

# 事務事業シート(行政経営Cシート)

<b>事務事業名</b> ウェルカムいしかわ推進事業	<b>事業開始年度</b> H22	<b>事業終了予定年度</b>	<b>作 組 織</b> 観光企画課
	<b>根拠法令・計画等</b> ほっと石川観光プラン2016		<b>成 職・氏名</b> 主事 山野下 莉那
			<b>者 電話番号</b> 076 - 225 - 1127 内線 3923

<事業の背景及び目的>

北陸新幹線金沢開業により増加している観光客を「おもてなし」の心を持って迎え、観光地石川のより一層のイメージアップやリピーター客の確保につなげるため、県民総ぐるみで「おもてなし」向上に向けた取り組みを推進し、県民一人ひとりが当事者意識を持つための意識浸透を図る。

<事業の概要>

観光事業者向け、一般県民向けの「おもてなし講座」を開催

交付先 : (公社)石川県観光連盟

スキルアップを図りたい観光事業者やおもてなしについて学びたい一般県民向けにおもてなしに関する講習会を開催する。(テーマに応じて講師を派遣)

対 象: 企業や各種団体(公民館、地域団体など)が開催する会合、研修会等

内 容: 私たちにもできるおもてなし、おもてなしとは何かなど

講師例: ほっと石川観光マイスターなど

施策・課題の状況						
<b>施策</b>	観光客の満足度向上による石川ファンの拡大	<b>評価</b>	D			
<b>課題</b>	石川ファンの拡大を図るためのおもてなしの向上					
	<b>指標</b>	観光入り込み客数	<b>単位</b> 千人			
	<b>目標値</b>	<b>現状値</b>				
	令和7年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	30,000	24,753	24,915	24,899	13,252	12,307
事業費						
	(単位:千円)	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
<b>事業費</b>	予算	400	320	250	200	200
	決算	160	100	250	55	55
<b>一般</b>	予算	400	320	250	200	200
	決算	160	100	250	55	55
<b>事業費累計</b>		25,360	25,460	25,710	25,765	25,965
評価						
<b>項目</b>	<b>評価</b>	<b>左記の評価の理由</b>				
事業の有効性 (費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか)	C	これまで、県民がおもてなしについて考えるきっかけづくりとする「おもてなし講座」等を開催し、延べ14,077人が受講している。(R3年度:4回・70人/R2年度:10回・262人) R3年度に観光客から寄せられたご意見も、「満足」、「やや満足」の評価が9割を超えており、おもてなしの維持・向上につながった。				
今後の方向性 (県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)	継続	県民のおもてなしの向上を図り、観光地石川のイメージアップやリピーター客の確保につなげるため、引き続き、団体や企業へのおもてなし講座の周知を行い、制度の利用を促す。				

# 事務事業シート(行政経営Cシート)

<b>事務事業名</b>	ほっと石川観光プラン推進ファンド事業資金貸付金	<b>事業開始年度</b>	H28	<b>事業終了予定年度</b>	
		<b>根拠法令・計画等</b>	ほっと石川観光プラン2016		

<b>作</b>	組	織	観光企画課		
<b>成</b>	<b>職</b>	<b>氏名</b>	主任主事 小林 祐樹		
<b>者</b>	<b>電話番号</b>	076 - 225 - 1126 内線 3917			

**事業の背景・目的**  
 平成28年3月に策定した「ほっと石川観光プラン2016」に基づき、(公社)石川県観光連盟がほっと石川観光プラン推進ファンドを活用して実施する北陸新幹線金沢開業効果の持続・発展に向けた国内誘客に向けたプロモーション活動の円滑な実施のため、資金繰りに必要な資金の貸し付けを行う。

- 事業の概要**
- 1 貸付額 115,300千円
  - 2 貸付先 (公社)石川県観光連盟

**【参考】ほっと石川観光プラン推進ファンドを活用した事業内容**

○能登・加賀・金沢における各地域での魅力づくり

- <能登>  
 能登ふるさと博の通年開催  
 (能登インスタ映えフォトキャンペーン、能登の食と自然等を満喫するスタンプラリーなど)
- <加賀>  
 広域周遊促進イベントや加賀の広域連携素材を活用したスタンプラリーの実施など
- <金沢>  
 金沢での音楽をテーマとしたイベントの開催など

○いしかわ旅行商品プロモーション会議の開催  
 市町・観光団体等が発掘・磨き上げた観光素材を旅行会社の商品造成責任者に提案し、助言を受ける会議の開催

施策・課題の状況						
<b>施策</b>	観光客の満足度向上による石川ファンの拡大	<b>評価</b>	D			
<b>課題</b>	石川ならではの魅力の発信					
	<b>指標</b>	観光入り込み客数	<b>単位</b>	千人		
	<b>目標値</b>	<b>現状値</b>				
	令和7年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	30,000	24,753	24,915	24,899	13,252	12,307

事業費						
(単位:千円)		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
<b>事業費</b>	<b>予算</b>	149,150	110,650	127,650	118,650	115,300
	<b>決算</b>	149,150	110,650	127,650	118,650	115,300
<b>一般</b>	<b>予算</b>	0	0	0	0	0
	<b>決算</b>	0	0	0	0	0
<b>事業費累計</b>		241,150	351,800	479,450	598,100	713,400

評価		
項目	評価	左記の評価の理由
事業の有効性 (費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか)	B	令和3年度は、新型コロナウイルスの影響により、県全体の観光入込客数がコロナ前の令和元年度比49.4%、令和2年度比92.9%となり、能登・加賀・金沢それぞれの観光入込客数も令和元年度からを下回っており、本事業についても、一部事業の中止や規模縮小を余儀なくされた。しかし、コロナ下でも実施可能な事業を行い、各地域への誘客を図った結果、各地域でのイベントにおいて令和2年度より参加者が増加するものもあり、一定の効果があった。 プロモーション会議では、旅行会社からの助言により、複数の素材が旅行商品化につながった。
今後の方向性 (県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)	継続	引き続き県内全域への誘客促進を図るため、各地域での魅力づくりや旅行商品造成に向けた取り組みの推進など、(公社)石川県観光連盟が実施する事業に対し必要な資金の貸し付けを行う。

# 事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名 加賀温泉旅館等誘客促進事業	事業開始年度	H20	事業終了予定年度	
	根拠法令・計画等	ほっと石川観光プラン2016		

作 組 織	観光企画課			
成 職・氏名	主事 板谷 春菜			
者 電話番号	076 - 225 - 1542 内線 3927			

<事業の背景及び目的>  
 東海北陸自動車道及び世界遺産登録の五箇山・白川郷エリアと、加賀温泉郷・辰口温泉・白山温泉郷の観光連携を図り、誘客を促進するために、白山白川郷ホワイトロード通行料の優待企画を実施する。

<事業の概要>  
 白山白川郷ホワイトロード「温泉に泊まって」片道無料キャンペーン(18,000千円)

(1) 白山白川郷ホワイトロード通行料金の実質片道無料化(15,500千円)  
 ①対象者 自家用車等を利用して加賀地域の協賛宿泊施設に宿泊した人  
 ※当面は利用を県民に限定  
 ②協賛宿泊施設 74施設(粟津温泉2、片山津温泉8、山代温泉16、山中温泉17、辰口温泉3、白山温泉郷28)  
 ③実施期間 令和3年7月3日～11月10日(白山白川郷ホワイトロード供用期間中)  
 ※令和3年7月31日～10月7日は事業を一時停止  
 (「まん延防止等重点措置」が適用されたため)  
 ④料金体系(片道) 普通車1,700円、軽自動車1,400円、マイクロバス5,000円、大型バス11,000円

(2) 広報宣伝の実施(2,500千円)  
 ・県観光ホームページ「ほっと石川旅ねっと」  
 ・白山白川郷ホワイトロードホームページ  
 ・北國新聞・北陸中日新聞7月3日(月)朝刊

施策・課題の状況						
施策	観光客の満足度向上による石川ファンの拡大			評価	D	
課題	広域連携による県域を越えた周遊観光の促進					
	指標	観光入り込み客数		単位	千人	
	目標値	現状値				
	令和7年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	30,000	24,753	24,915	24,899	13,252	12,307

事業費						
(単位:千円)	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
事業費	予算	18,000	18,000	18,000	18,000	18,000
	決算	8,841	7,670	8,164	0	250
一般	予算	18,000	18,000	18,000	18,000	18,000
財源	決算	8,841	7,670	8,164	0	250
事業費累計		219,626	227,296	235,460	235,460	253,460

評価																							
	項目	評価	左記の評価の理由																				
事業の有効性 (費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか)		B	新型コロナの影響でR3は対象を石川県民限定とし、キャンペーンの一時停止もあったことから利用台数は大きく減少したものの、石川県民の利用台数で見るとR1から減少はしておらず、利用客から「来年も続けてほしい」という声があるなど、宿泊者の確保に一定の効果があった。																				
			<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td></td> <td>H30</td> <td>R1</td> <td>R3</td> </tr> <tr> <td>開通期間(一部・全線)</td> <td>149日間</td> <td>111日間</td> <td>145日間</td> </tr> <tr> <td>利用台数</td> <td>59,351台</td> <td>47,154台</td> <td>42,194台</td> </tr> <tr> <td>日平均台数</td> <td>398台</td> <td>424台</td> <td>291台</td> </tr> <tr> <td>片道無料キャンペーン</td> <td>4,040台</td> <td>3,069台</td> <td>203台</td> </tr> </table>		H30	R1	R3	開通期間(一部・全線)	149日間	111日間	145日間	利用台数	59,351台	47,154台	42,194台	日平均台数	398台	424台	291台	片道無料キャンペーン	4,040台	3,069台	203台
		H30	R1	R3																			
	開通期間(一部・全線)	149日間	111日間	145日間																			
	利用台数	59,351台	47,154台	42,194台																			
日平均台数	398台	424台	291台																				
片道無料キャンペーン	4,040台	3,069台	203台																				
			※R2は土砂崩れで石川県側通行止めのため事業未実施																				

今後の方向性  
(県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)

継続

ホワイトロードを活用した加賀・白山エリアの誘客、さらには加賀地域の温泉旅館の宿泊者を確保していくため、インターネットや情報誌などで更なる周知やキャンペーンを活用した誘客に取り組む。

# 事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名 次代を担う石川の観光人材育成事業	事業開始年度	H28	事業終了予定年度		作 組 織	観光企画課	
	根拠法令 ・計画等	ほっと石川観光プラン2016			成 職・氏名	主任主事 坂本 圭佑	
					者 電話番号	076 - 225 - 1127 内線 3957	

<事業の背景及び目的>

北陸新幹線の金沢開業に伴う観光入り込み客の拡大や外国人旅行者の増加、ICTの発達による旅行者の趣味嗜好の多様化など、本県観光をとりまく環境が大きく変化している。

こうした中、これからの石川の観光がさらに飛躍、発展するためには、既存の観光産業の枠にとらわれず、様々な業種の方々が分野を超えて新しいビジネスの創造にチャレンジするとともに、常に魅力あるサービス(価値)を提供していくことが求められている。

「いしかわ観光創造塾」では、受講生同士が将来のビジョンを共有し、ともに学ぶことで、企画・実行力を備えた次代のリーダーを育成する。

<事業の概要>

「いしかわ観光創造塾」の開催

- ・宿泊、交通、旅行業、観光施設、飲食などの幅広い観光関連事業の若手経営者や幹部候補等を対象として、観光に関わる多様な分野の人々と連携・協力して、本県観光の飛躍・発展に貢献できる人材を育成する。

期間: 令和3年4月～令和3年12月  
 講座: 14回(うち、オンライン開催4回)  
 参加人数: 205人(累計)  
 内容: リーダーに求められる、マーケティングやマネジメント、ファイナンス等の能力について、一方的な講義ではなく、グループワークを基本とした主体的に学ぶ形式を採用し、かつ取扱う内容についても具体的な事例(ケースメソッド)を取り入れることで、実践的な課題解決手法を学ぶ。  
 交付先: (公社)石川県観光連盟

施策・課題の状況						
施策	観光振興を担う人材の育成・充実	評価	D			
課題	観光振興を担う人材の育成					
	指標	観光入り込み客数	単位	千人		
	目標値	現状値				
	令和7年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	30,000	24,753	24,915	24,899	13,252	12,307

事業費						
(単位: 千円)	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
事業費	予算	3,000	2,100	1,700	1,600	1,600
	決算	2,850	2,100	1,700	1,300	1,300
一般	予算	3,000	2,100	1,700	1,600	1,600
財源	決算	2,850	2,100	1,700	1,300	1,300
事業費累計		4,427	6,527	8,227	9,527	11,127

評価		
項目	評価	左記の評価の理由
事業の有効性 (費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか)	B	令和3年度は新型コロナウイルスの影響もあり、一部オンラインでの開催となったが、分野を超えたネットワークの構築による、新たなビジネスの創出や、魅力あるサービスの提供などの企画・実行力を習得した17名が修了した。また、これまでの修了生からは、例えば新たな旅行ニーズに対応した、これまでに無い旅行商品の開発や、宿泊施設の開業など、企業の中核人材や経営者として活躍する人材を多く輩出している。
今後の方向性 (県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)	継続	コロナ禍で変化した旅行ニーズや前年度修了生からの要望を踏まえ、「効果的な情報発信方法」を次年度の講座に追加するなど、講義の内容や開催方法の工夫・見直しを図っており、引き続き、(公社)石川県観光連盟や関係団体と連携・協力して、本県観光の将来を担う人材の育成に取り組む。